

明日はこれを読もう

二見時代小説文庫

時代小説

浅黄 斑

らっ き きざし
落暉の兆

無茶の勘兵衛日月録20

何かが
大きく変わり
動きはじめた
第20弾!



落合勘兵衛は身重の妻を連れ帰郷したところ、奇妙な風説に驚愕した。無茶の勘兵衛ではなく、無駄の勘兵衛という風説。そして上司の江戸留守居役への誹謗。なにかがおかしい。誰が、どんな意図で？ やがて江戸に戻った勘兵衛は、深更、藩邸に上意を伝えに来た使番からの「大名総登城」の触れにおののいて……。